

まち、ひと、ふるさとが

寄り添うまちづくり



播磨町長

清水ひろ子

新年 明けまして おめでとうございます。
それぞれのご家庭におかれましては、穏やかで幸せな新年を迎えられたことと思います。

今、この地球上では日々様々な出来事が起こっています。改めて、平穏な日常を重ねてきたまちの歴史を幸せに思っています。都会でもなく、田舎でもなく、ちよどいいくらの自然があつて、程よい人間関係があつて、何より地域において、住む人を孤独にさせない温かいコミュニティが醸成されていること、またそれを支える人たちがいること。

そんなまちのよさに、素晴らしさに、今一度気づいていただきたいと、新たなポスターを作成しました。その中にはこのまちで暮らしている人々、このまちを支えている人々のたくさんの笑顔があります。まち中にあるたくさんの笑顔がいつまでも消えないように、このまちを築立っていく人々にとつても、心の拠りどころとなるように、『まち(行政)が、ひと(家族、友達、仲間、ボランティアなど)が、ふるさと(生まれ育ったまち、地域)が』寄り添う、温かくやさしさに満ちた「土壌」を皆様方とご一緒に、これからも大切に守り継いでいきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

住みよい 住んでよかった まちに



播磨町議会議員
奥田 俊則

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の国難突破解散という、第48回衆議院選挙は、衆院選としては、日本で初めて18歳以上の人たちが投票した画期的な選挙でした。結果は自民党が圧勝し、憲法論議を再始動して党改憲原案をまとめる方向です。国際政治においては、米大統領のアジア歴訪で、国連制裁を無視して核兵器開発を強行する北朝鮮への圧力の強化を呼びかけました。しかし、一方で貿易不均衡の是正が政策の根幹であると明言しました。今後も日米韓中の動向を注視する必要があります。

わがまちにおいても、少子高齢社会のもとで、社会保障関係の充実、安全・安心なまちづくりを力を入れていく必要があります。学校などの老朽化した公施設やインフラ施設の改修なども予定されており、より住みよいまちを目指した計画が進んでいます。

また、平成30年度から国民健康保険が都道府県と市町村の共同運営に変わります。様々な課題を抱えている国民健康保険制度の大きな転換期を迎えています。このまちに住んでよかったと実感できるまちづくりに、町としてどう取り組んでいくのかが、大きなテーマだと考えます。そのため、議員はこれからも皆様方と一緒に、一生懸命努力をする決意であります。

本年も一層のご指導とご協力を賜りますよう、お願い申しあげるとともに、皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 奥田俊則
副議長 木村晴恵
議員(議席順)

- 大瀧金三
- 宮宅良
- 小原健一
- 松下嘉城
- 河野照代
- 神吉史久
- 岡田千賀子
- 藤原秀策
- 藤田博
- 松岡光子
- 田中久子



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。

